

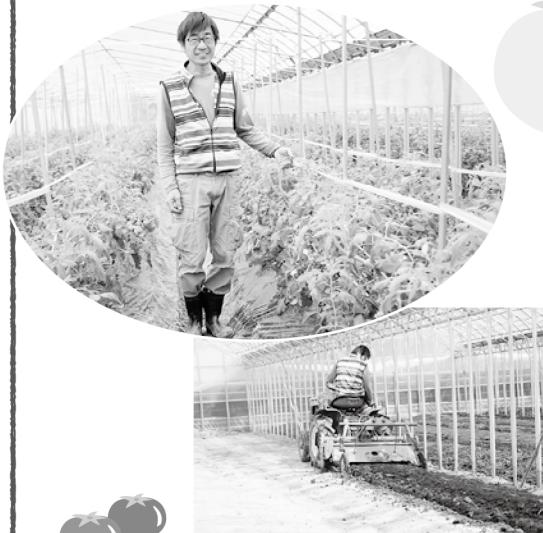
▶▶1ページより続く

特集②

～和歌山県・紀ノ川農協～

産直一株トマトを待ってくれている組合員さんのためにがんばります

児玉 幸造さん



(写真上)3段目まで成長した一株トマト

(写真下)再建されたハウス内でトラクターを使い土を掘り起こす

これからも ずっと続けていきたい

植田 晃平さん



一株トマトを作り始めて12年、トマト一筋という植田さん。トマト作りの師匠の藤谷さんには「観察力がすごい」と言われるほど。「作り始めた当初は、日照不足で枯れたり水分が多くて玉割れしたり…。連作障害で土壤改良をしたが3・4年は採れない時期もありました。今は3つのハウスを管理しています。収穫時期はトマトに付きつきりにならないといけないので奥さんにいつも怒られてますが、楽しくやっています。これからもずっと続けていきたいです。」

一株トマトって？

産直产地・紀ノ川農協とパルコープ(の前身生協)組合員さんが1984年から、お互いに訪問・交流しながらとりくみを続けてきた産直トマト。予約1件でほぼ一株分(4~5kg)のトマトを6週か8週の間、赤く熟した順にお届けする仕組みです。一般のお店用が青い状態で採るのと異なり、共同購入ではできるだけ樹の上で色付かせてから収穫し、お届けができるので、「昔の



トマトの味がする」と好評です。現在生産者は和歌山県・紀ノ川以外に奈良県・五條と大阪府にもいらっしゃいます。

作り手も食べる方も リレーのようにバトンを繋いでいける 産直一株トマト

小川 真司さん
(トマト部会副会長)



一株トマトに関わって10年という小川さんは、トマトの他に、きゅうり・葉ボタン・玉ねぎなどを栽培。「この地域を元気にしたい、仕事を農業で生み出していくための取り組みをしたいといつも考えています。そういう意味では一株トマトの取り組みはありがたいです。ほぼ契約栽培で計算しやすく、安定販売できるし初心者でも始めやすい。作り初めは誰でも失敗するけど、失敗してもまたチャレンジできますし。この企画があることで、作り手も食べる方も世代がリレーのようにバトンを繋いでいける。それがいいですよね。そういう意味を込めて、あえて生産者カードは子どもと一緒に写っている写真にしているんですよ。人って繋がりが一番大事ですよね。」

小川さんの生産者カード



// 4月2回より受け付けスタート //

産直 一株トマト

※写真是750g分のイメージです。
(個数は決まっていません。
サイズは不揃いになります) ハート栽培



期間中、毎週お届けがあります

注文は予約制です

4月2回～5月4回の注文書にて
5kgコースか4kgコースかを選んでご予約ください

お届け週と1回あたりの価格は

5kg 8週コース…5月5回～7月3回
500gの週 本体 238円(税込257円)
750gの週 本体 358円(税込387円)

4kg 6週コース…6月2回～7月3回
500gの週 本体 258円(税込279円)
750gの週 本体 378円(税込408円)

詳しくは今週配布の別チラシをご覧ください。